

10/8
玉花

8月実質賃金、1.7%減

5カ月連続でマイナス

厚生労働省が7日発表
した8月の毎月勤労
統計調査(速報、従業
員5人以上)による

と、物価上昇の影響を
反映した実質賃金は前
年同月比1.7%減で
した。基本給と残業代
などを合わせた現金給
与総額(名目賃金)は
増えたものの、物価の
伸びが上回って5カ月
連続でマイナスとなり
ました。

8月の現金給与総額

は、労働者1人当たり
平均で1.7%増の27
万9388円。このうち
基本給が中心の「所
定内給与」は1.6%
増、残業代を含む「所
定外給与」が4.3%
増となりました。賞与
など「特別に支払われ
た給与」は0.7%増
でした。ただ、実質賃
金の算出に用いた8月
の消費者物価指数(持
ち家の帰属家賃を除く
総合)は3.5%上

昇。賃金の伸びが追い
付かない状況が続いて
います。

就業形態別の総額
は、正社員ら一般労働
者が1.6%増の36万
1969円。パートタ
イム労働者は3.9%
増の10万169円とし
た。1人平均の総実労働
時間は、2.2%増
の132.5時間。所
定内労働時間は2.0
%増え、所定外も4.
2%増加しました。

8月の現金給与総額
総合)は3.5%上